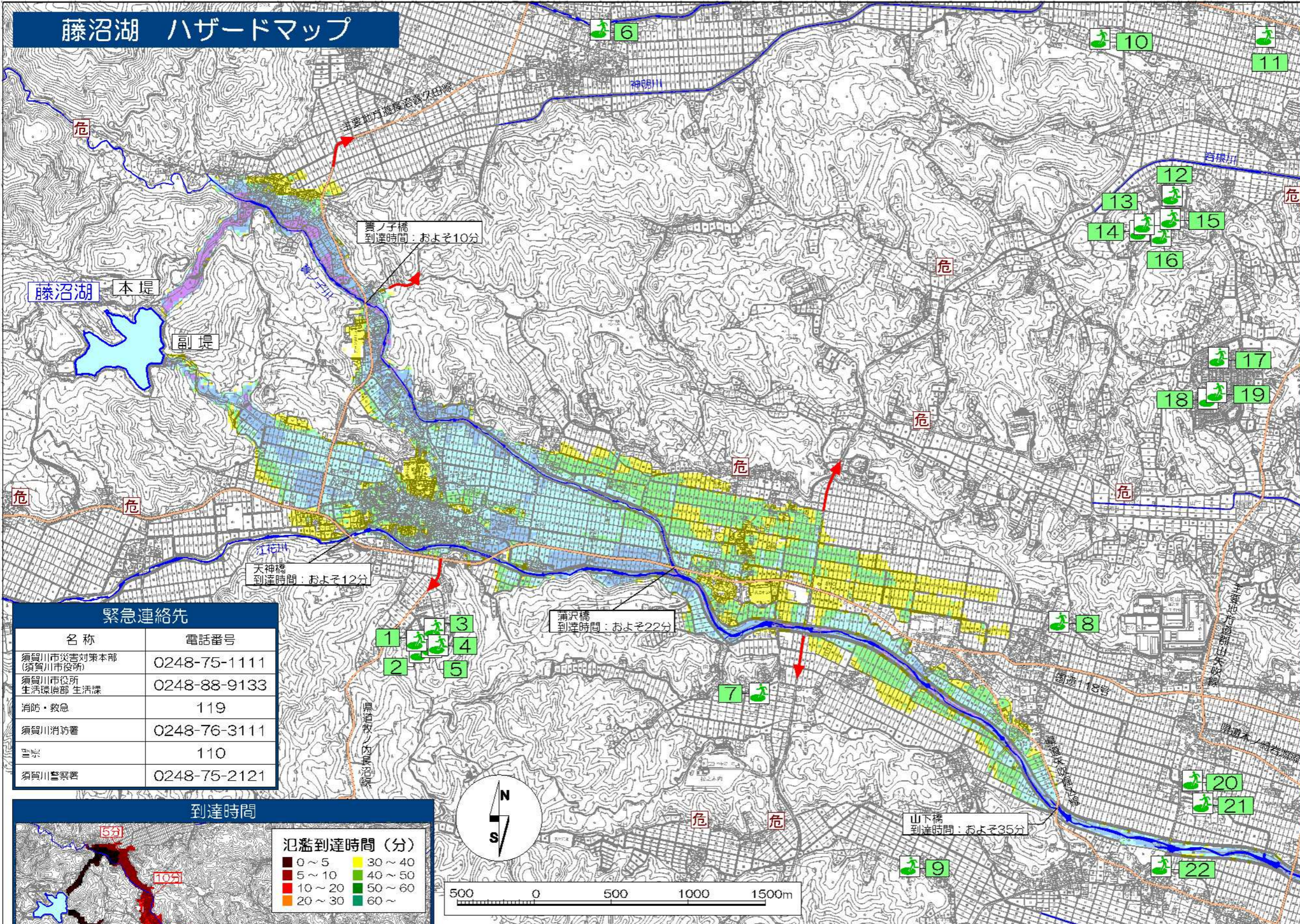


# 藤沼湖 ハザードマップ

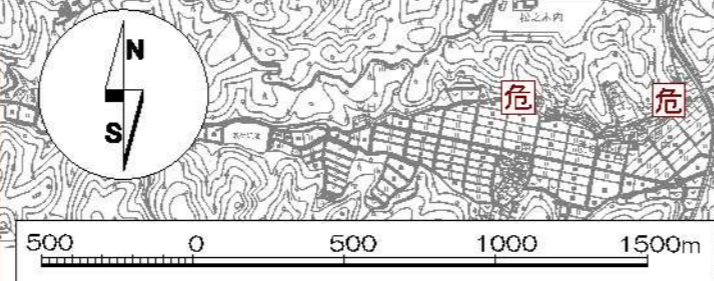
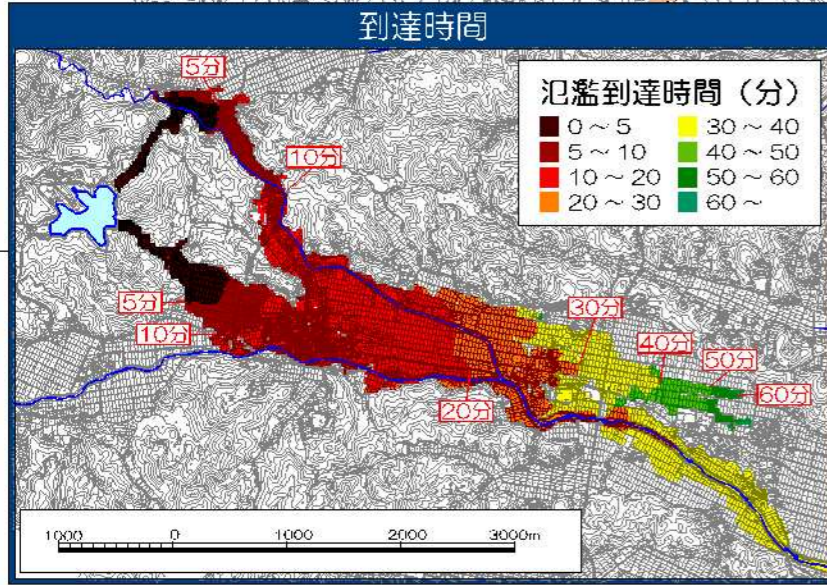


### 避難場所

1	長沼農村環境改善センター
2	長沼体育館
3	長沼野球場
4	長沼屋内ゲートボール場
5	長沼老人福祉センター
6	梅田プレスセンター
7	小中集会所
8	横田集会所
9	東部コミュニティーセンター
10	市立岩瀬中学校校庭・体育館
11	岩瀬市民サービスセンター
12	いわせグリーン球場
13	いわせ地域トレーニングセンター
14	いわせ老人福祉センター
15	いわせ運動広場
16	いわせ保健センター
17	みどり荘
18	石の花コミュニティセンター
19	あおば公園
20	長沼東部運動広場
21	市立長沼東小学校校庭・体育館
22	古館集落センター

### 緊急連絡先

名称	電話番号
須賀川市災害対策本部 (須賀川市役所)	0248-75-1111
須賀川市役所 生活環境部 生活課	0248-88-9133
消防・救急	119
須賀川消防署	0248-76-3111
警察	110
須賀川警察署	0248-75-2121



### 凡例

- 河川 (River)
- 藤沼湖 (Fujinuma Lake)
- 主要道路 (Main Road)
- 避難場所 (Evacuation Site)
- 避難経路 (Evacuation Route)
- 急傾斜地崩壊危険箇所 (Steep Slope Collapse Hazard Area)

### 浸水深

- 5.0m以上の区域 (Area of 5.0m or more)
- 2.0m～5.0m未満の区域 (Area of 2.0m to less than 5.0m)
- 1.0m～2.0m未満の区域 (Area of 1.0m to less than 2.0m)
- 0.5m～1.0m未満の区域 (Area of 0.5m to less than 1.0m)
- ～0.5m未満の区域 (Area of less than 0.5m)



### 図の作成条件等

マップに示した浸水区域・浸水深、氾濫流の到達時間は、満水位の状態にある藤沼湖が決壊し湖内の貯水量が全て下流に流出した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。  
 藤沼湖の水位の状況、気象状況、決壊の状態によっては、このマップの浸水状況と異なる場合もあります。  
 【作成主体：須賀川市産業部農政課 (Tel.0248-88-9140)】  
 【作成年月：平成31年2月】

### 藤沼湖 浸水想定区域図

このマップは、藤沼湖が地震等の原因により決壊した場合、想定される浸水区域・浸水深、氾濫流の到達時間、避難場所・避難経路等を示したものです。  
 万が一藤沼湖が決壊した場合、短時間に大量の水が押し寄せるとともに水の流れが非常に強いので、浸水する前に一刻も早く近くの避難場所や高台に避難して下さい。  
 このマップをもとに、日頃から避難場所・避難経路や近くの高台への経路を確認しておくとともに、万が一の際には早めの避難を心がけましょう。

# 藤沼湖 ハザードマップの見方・使い方

## ■ハザードマップの作成の目的

藤沼湖ハザードマップは、万が一の事態で藤沼湖が決壊した場合、最大でどの程度の浸水範囲となるかを知るために最悪の状況を想定した浸水予測を行いました。住民のみなさんがハザードマップを通じて、想定される災害を事前に知り、自らの避難を考え、地域の防災力向上につながることを目的にしています。

## ■ハザードマップの作成条件

現在起こりうる最大の危機を想定しました。藤沼湖が満水の状態で、貯水量の全量 150万トンが下流域に流れ出す場合を想定しました。



## ■そうなってからでは遅い！ 早めの避難

浸水が始まってから行動したのでは、手遅れになる場合があります。あらかじめ、このハザードマップで水がせまりくる状況を学び、万が一の事態が発生した場合の早めの判断、速やかな行動につなげてください。

## ■ハザードマップに載せる情報

### ① 場所ごとの浸水する深さ

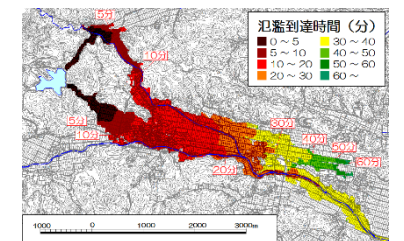
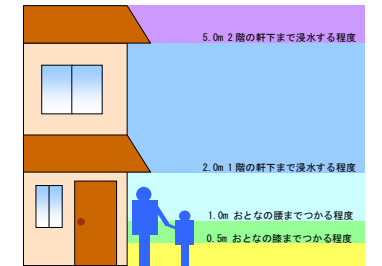
場所ごとの浸水する深さを色分けして地図上に表示しました。

### ② 到達時間

氾濫水が到達するまでの時間を表示しました。

### ③ 避難場所

避難する場所を地図上に表示しました。なお、一刻も早い避難が必要な事態になったときは、指定された避難場所によらず、近くの高台へ避難してください。



## 地図を見るうえでのポイント

- 地図の凡例を参考に、どこにどのような浸水が想定されているか確認しましょう（浸水想定区域では、水だけでなく、土砂や流木、地図上にある様々なものが押し流されてくる可能性があります。）
- 災害の状況によっては、避難場所へ向かうことが危険な場合があるので注意しましょう。
- 地図を片手に自分の家から避難場所まで歩き、実際の距離感や、災害時に危険そうな箇所（地震時に崩れそうなブロック塀、大雨時に溺れそうな深みのあるところ）や、逃げ込める高台などをあらかじめ確認しておきましょう。